



目的

多様な性を存在を知ることアライを増やす

セクシャルリティはSOGIの観点から、誰もが関わることと知ること、セクシャルマイノリティへの理解者を増やして、その支援活動の素地を作ることを目的とする。

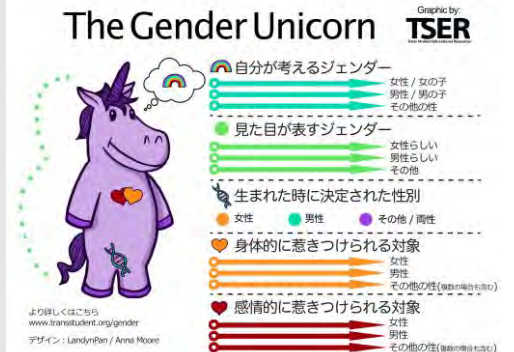
現状

「基本的人権」を行使することに至っていない

働くところがない／住居確保困難／相談先がない／理解者がいない・・・ ▶相談会実施

市民活動「サポぬまじゅん子の小部屋」としてLGBT労働相談会を月に1回開催している。その中で、労働相談だけでなく、就労、住居確保、家庭不和など様々な困難やトラブルがセクマイから寄せられている。

安心して相談する機関が沼津にないこともあり、生活困窮に陥る人や、ありのままの自分で生きることが出来ず、生き辛さを抱えている方も多く、すべての人間が生まれながらに持っている「基本的人権」を行使するためにはアライを増やすことが第一歩と考えている。



活動

映画鑑賞から始まる理解の広がり

コロナウイルスの影響もあり、全体会議ができない状況が続き当初計画のワークショップ、パレード、ステッカー作成などの事業を変更。上映会や定例会、茶話会をオンライン・対面で開催。

相談会を持続開催したことで、沼津市自立相談支援センターや、近隣社会福祉協議会より、セクシャルマイノリティ当事者からの家庭や労働などについての相談があり、電話や訪問などを行った。相談者には定例会の参加を促し、仲間づくりを行った。2月に行われたLGBT成人式にも参加を促した。

- 映画はオンライン配信し、当事者・理解者・議員などとともに鑑賞、意見交換などを行った。
- トークショーを行いyoutubeで配信<https://youtu.be/xs6IEV1cFNU>



じゅん子の小部屋



映画オンライン上映会



トークショー



上映会事後会



LGBT成人式

振り返り課題

誰にでも関わるSOGIを知りアライとなること

- 活動についての課題として、対面で集まることがし難くなっているため個別での対話の機会を増やしていく。
- 近隣の市町の当事者との連携を深めて、行政体にもより理解を深める。
- コロナの影響で活動を縮小し大幅事業計画を変更したが、オンラインの特徴をうまく利用し、相談する機会を作ることが可能となった。また、企業訪問し、多くの理解者を増やす予定だったが、動画配信の委託先のアドレスを借りることで、普段出会うことのない方に視聴していただき、当事者への理解を深めるきっかけとなった。結果新しい形の相談や発信を行うことで多くの方に理解を求めることができたと考える。
- 上映会事後会では、議員とともに、災害時におけるセクシャルマイノリティ当事者の避難所対応やホルモン剤の備蓄状況など医療措置について話を深めた。また、各地域で進められているパートナーシップ条例について、単独の市町村だけでなく自治体をまたいでできることが望ましいなど、具体的な課題についての共有を行い議論。今後は制度や対策についての改善など要望などを行っていく。